

【平成20年度 適性検査 解答例】

研究1	課題1	<p>(例)</p> <p>ホットケーキ1枚あたりの牛乳の量は $\frac{100}{8}$ ml</p> <p>66枚分の牛乳の量は $\frac{100}{8} \times 66 = \frac{6600}{8}$</p> <p style="text-align: right;">= 825 (ml)</p> <p>したがって、牛乳の余りを少なくするには、900ml分の牛乳パックを買えばよい。</p> <p>牛乳パックの買い方 (200mlの牛乳パック2個、500mlの牛乳パック1個)</p>
	課題2	<p>(例)</p> <p>カップケーキを3皿分12個作り、ドーナツを3皿分24個作るとすると</p> <p>小麦粉は $50 \times 3 + 160 \times 3 = 630$ (g)</p> <p>砂とうは $40 \times 3 + 32 \times 3 = 216$ (g)</p> <p>となり、作ることができる。</p> <p>カップケーキを5皿分20個作り、ドーナツを2皿分16個作るとすると</p> <p>小麦粉は $50 \times 5 + 160 \times 2 = 570$ (g)</p> <p>砂とうは $40 \times 5 + 32 \times 2 = 264$ (g)</p> <p>となり、作ることができる。</p> <p style="text-align: center;"> $\left[\begin{array}{l} \text{カップケーキ} \ 3 \text{皿} \\ \text{ドーナツ} \quad \quad 3 \text{皿} \end{array} \right] \quad \left[\begin{array}{l} \text{カップケーキ} \ 5 \text{皿} \\ \text{ドーナツ} \quad \quad 2 \text{皿} \end{array} \right]$ </p>
研究2	課題1	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 汚れた空気を出したり、多くの二酸化炭素を出したりせずに発電できるかん境にやさしい発電方法だから。 ・ 地熱や太陽光、風力は自然の中にあるずっと使えるエネルギーなので、資源がなくなる心配がない発電方法だから。 <p style="text-align: right;">など</p>
	課題2	<p>みどりさんの予想</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各家庭のエアコンの台数が増えるなど、家庭内での電化製品が増えていくから。

		<ul style="list-style-type: none"> ・技術の進歩により、新しい家庭用電化製品が次々に開発されるから。 など <p>あきらさんの予想 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気の使用量が少ない省エネルギーの電化製品が開発されるから。 ・省エネルギーへの国民の意識が高まり、節電が進むから。 など
研究 3	課題 1	<p>(例)</p> <p>まず、氷と水がまじっている状態のところにこの温度計をさし、温度が下がらなくなった時の位置を 0 として印をつける。</p> <p>次に、水がふっとうしている状態のところにこの温度計をさし、温度が上がらなくなった時の位置を 100 として印をつける。</p>
	課題 2	<p>(例)</p> <p>0 の印から 100 の印までのはばは 18 cm だから、 $18 \div 100 = 0.18$ つまり、1 あたり 0.18 cm だとわかる。</p> <p>0 の印から部屋の温度の印までのはばが 2.7 cm だから、 $2.7 \div 0.18 = 15$ したがって、部屋の温度は 15 であることがわかる。</p>
研究 4	課題 1	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな経験をして、あせらずに人としての土台を作っておくということ。 ・若者があせることなくそのときしなくてはならないことをしっかりと行うこと。 など
	課題 2	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな木に教わったことへの感謝の気持ちをこめて大きな木の命をつなげたいと思ったから。 ・自分が大きな木に救われたように、木の実を植えることで、植えた木の実から育った木に他の人たちも救われることを願っているから。 など